



組織検査・研究における「困った」を

解決します

なかなか頼めない、質問出来ない組織検査の悩みを

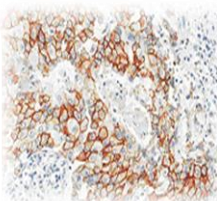
気軽に **パソ研** にご相談下さい。

事例1:製薬会社 A様
レーザーマイクロダイセクションの為に、腫瘍と非腫瘍、間質成分を分画したい。



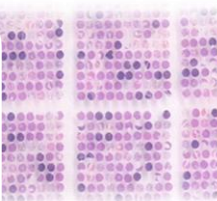
・非カバーHE染色スライドをバーチャルスライド化し、スキャンした画像上に腫瘍細胞と腫瘍間質のマーキングを行うことが可能です。

事例2:医学部 B講座様
免疫染色をして、染色の判定や、結果の解析に客観性を持たせたい。



・自動染色機による再現性の高い染色を行うことが可能です。
・染色コントロールの設置、染色条件の検討、結果の解析をすべて行うことが可能です。染色結果について、解析ソフトウェアを用いて客観的な判定を加えることが可能です。

事例3:抗体作製企業 C様
作製抗体の評価を行うために、組織アレイを作製して検討したい。



・組織アレイは、0.6mmから3mmまでのコアを有するアレイブロックを作製可能です。0.6mmでは、1000個の組織を一つのブロックに埋め込む技術を持っています。研究の省力化、スピードアップに役立ちます。

事例4:基幹病院 D様
病理標本をバーチャル画像で保存し、カンファレンスに使用したい。



・スライドをバーチャルスライド化することで、省スペースに貢献できます。コピーも簡単で、病理スライドを共有できます。顕微鏡を必要としません。患者さんへの説明も簡便です。
・重要なスライドは色褪せることなく、ハードディスクやクラウドストレージなどで管理することが可能です。